



2012年5月

パテック フィリップ・ミュージアム特別展 《ルソーの銘を帯びたタイムピース》

今年、ジャン・ジャック・ルソー生誕300年にあたる。これを記念するジュネーブ市主催の文化イベント《2012年 - 万人のためのルソー》の一環として、パテック フィリップ・ミュージアムと欧州ジャン・ジャック・ルソー委員会（CEJRR）は、2012年5月11日～10月13日までジュネーブのパテック フィリップ・ミュージアムにおいて特別展《ルソーの銘を帯びたタイムピース》を開催する。

特別展《ルソーの銘を帯びたタイムピース》は、十七世紀に製作されたタイムピースの傑作にハイライトを当てる。パテック フィリップ・ミュージアム所蔵品、および著名な博物館や個人コレクションの希少で価値ある所蔵品約30点が展示される。時計製作の歴史になくはならないルソー家への感動的なオマージュであると同時に、十七世紀以降、カルヴァン治下のジュネーブを高度な技術性と芸術性を備えた高級時計製作の揺籃の地となしたジュネーブの《ラ・ファブリック》の驚異的な製作技術の高さを目の当たりにさせてくれるのである。精選された資料と共に展示されるこれらの作品は、《時》が人間の手によって創り上げられた《激動の世紀》の核心に、見学者を誘うことであろう。

十七世紀、ジュネーブの時計および宝飾産業は、徒弟制度に基づく多数の独立した工房から成り立っていた。《ラ・ファブリック》とは、ジュネーブのサン・ジェルヴェ地区に集中していたこれらの工房をとりまとめる組合であった。組合を構成する時計製作、宝飾、金細工、七宝、七宝細密画、彫金、その他の専門職人は、父から子へと工房を継承し、自らの技能の向上に努めた。

ルソー家はフランスの新教徒ユグノーの出身である。1549年、迫害を逃れてパリからジュネーブに亡命してきたのである。ジャン・ジャック・ルソーの曾祖父、ジャン・ルソーは、一家で初めて、当時ジュネーブの職人階級のエリートを構成していた時計製作マスターとなった。ジャンの7人の息子たちも父の跡を継ぎ、それぞれ時計製作、金細工、彫金、宝石加工の道に進んだ。こうしてルソー一家は、時計づくりと深いつながりを持つ家系となったのである。

ジャン・ジャック・ルソーは、幼い頃から祖父ダヴィッド・ルソーの時計工房で長い時間を過ごした。ここで彼は、祖父ダヴィッドから、物づくりの価値を学んだ。正確な動作と思考方法に没入した幼時の体験から、構造的思考方法を身につけたのである。彼は、教育論《エミール》の中でこう書いている。

《わたしは、初めて時計の内部を見た人のようだ。この機械が何のためのものか知らず、文字盤も見えていないにもかかわらず、仕上がりのすばらしさに感嘆せざるを得ない。彼は言う、これが何の役に立つのか分からない。しかし各々の部品が他の部品のために作られていること、これらの歯車が、わたしには分からない、ある共通の目的のために協調して動いていることは理解できる、と。》

展示されたタイムピース中、20点以上がルソー家の銘を帯びた作品である。フォルム、装飾、メカニズムの多様性から、十七～十八世紀を特徴づける驚異的な創作の自由さが見てとれる。髑髏をかたどった時計、十字架時計、馬車時計、複雑時計、いずれの作品も、蓋やケースに施された七宝細密画や精緻な彫金装飾など、卓越した美的、技術的創造性に溢れている。各々のディテールが、過去の世紀の時計製作マスターが成し遂げた不朽の業績を体現している。見学者は、ルソー家の歴史を辿りつつ、人類史の一端に触れることに気づくのである。《啓蒙の世紀》、それは哲学の復権を超えた、《手を動かすことにより思考する》職人の栄光の世紀であったのだ。

哲学者ルソー、作家ルソー、政治家ルソー、学際的賢人ルソー…。ジャン・ジャック・ルソーは人類の歴史と社会に永遠の足跡を残した。彼は、人間は生まれながらに自由であり、直感による自己認識能力を備えていると確信していた。彼の分析と思索能力、表現と思想の自由の主張は、ジュネーブの今日の栄光に少なからず貢献しているといえよう。

展示カタログは、十八世紀という激動の時代に新たな光を投じる科学的、歴史的論稿を収録している。これらの論稿は、ルソーが残した偉大な遺産に焦点を当てつつ、大きく発展を続ける今日のジュネーブ像にも言及している。ルソー一家の家系図を紐解くと、ジャン・ジャックの父、イザークが当時のコンスタンチヌープルで《後宮の時計師》の職務に就いていたことがわかる。またジャン・カルヴァンが1558年に発布した《奢侈禁止令》の経緯、著名な《ラ・ファブリック》の組織についての知識を深めることができる他、携帯時計が誕生から十八世紀までどのようなデザイン的変遷を経てきたかも知ることができる。

特別展《ルソーの銘を帯びたタイムピース》は、創造性豊かな過去の世紀へ開かれた窓であり、集合的記憶の場でもある。式典は2012年5月10日、パテック フィリップ名誉会長フィリップ・スターン氏、欧州ジャン・ジャック・ルソー委員会 (CEJRR) 会長レミー・ヒルデブランド氏、ジュネーブ市文化部長サミ・カナーン氏出席の下行なわれる。

欧州ジャン・ジャック・ルソー委員会 (CEJRR) は1995年にジュネーブで創設され、ルソーに絆の深い文化人が参集している。会長レミー・ヒルデブランド氏の下、スイス、ヨーロッパにおける偉人ジャン・ジャック・ルソーの足跡を研究するなど、啓蒙活動を行なっている。2002年、ジャン・ジャック・ルソーの生家 (グラン・リュウ40番) に開設された《エスパス・ルソー博物館》は、同委員会の尽力によるものである。

パテック フィリップ・ミュージアムは2001年に開設され、今日、世界で最大規模のプレステージ溢れるタイムピース・コレクションを所蔵し、展示している。十六世紀から今日に至る時計、ミュージカル・オートマトン、七宝細密画の記念碑的な約2,000点のコレクションを収める。時計製作に関する約8,000冊の稀覯書を集めた図書館を併設している。

パテック フィリップ・ミュージアム開館時間：

毎週火曜日～金曜日 午後2時～午後6時
土曜日 午前10時～午後6時
日曜日、月曜日、祝祭日は閉館

毎週土曜日午後2時より一般向けガイド・ツアーを実施（30分おきに交互にフランス語と英語によるガイド・ツアーがスタートする）。

個別ガイド・ツアー（8か国語）のご予約は、電話（+41 22 807 09 14）、電子メール（visit@patekmuseum.com）、またはPP Japan 株式会社（下記）まで。

《本資料に関するお問い合わせ先》

PP Japan 株式会社
パテック フィリップ ジャパン
A D & P R ディレクター
大塚和泉
電 話：03-5209-8018（直通）
F A X：03-3256-7558
izumi@ppjapan.com

《ご掲載いただく場合の読者お問い合わせ先》

パテック フィリップ ジャパン・インフォメーションセンター
電 話：03-3255-8109

《パテック フィリップ ホームページ》

<http://www.patek.com>（英語）



PATEK PHILIPPE
MUSEUM

《報道資料》 ページ 4

Inv. S-233 (パテック フィリップ・ミュージアム、ジュネーブ)

慈 愛

バシーヌ型時計。
金地七宝細密画。
ジャン・ピエール・ユオー
(Jean-Pierre Huaud, 1655～1723年) と
アミ・ユオー
(Ami Huaud, 1657～1724年)。
ベルリン, 1690～1700年頃製作。
香箱, 円錐滑車, 輪列, 冠型脱進機,
髭ゼンマイ付ムーブメント。
ムーブメントはルソーの作
(おそらく1664年に見習いであったアンドレの作)。
パリ, 1700年頃製作。
金, 七宝 / 真鍮金メッキ, スチール。
ムーブメントに《Rousseau A Paris》銘入り。



Inv. S-320 (パテック フィリップ・ミュージアム、ジュネーブ)

夏草の葉飾り

バシーヌ型馬車時計。
- 時報 (鐘による)
- 目覚し (可動文字盤と指針, 時報と同じ鐘による)
香箱, 円錐滑車, 輪列, 冠型脱進機付ムーブメント。
歯付香箱, 輪列, ハンマー付時報用ムーブメント。
歯付香箱, 輪列, ダブルハンマー付目覚し用
ムーブメント。
ムーブメントはダヴィッド・ルソー
(David Rousseau, 1641～1738年) の作。
ジュネーブ, 1665～1670年頃製作。
銀, 真鍮金メッキ / 真鍮金メッキ, スチール。
ムーブメントに《David Rousseau》銘入り。





PATEK PHILIPPE
MUSEUM

《報道資料》 ページ 5

Inv. S-246 (パテック フィリップ・ミュージアム、ジュネーブ)

古代の戦士の装いをした若い王子

バシース型時計.

金地七宝細密画.

初代ピエール・ユオー

(Pierre I Huaud, 1612～1680年)

またはジャン・ピエール・ユオー

(Jean-Pierre Huaud, 1655～1723年)

の作と見られる.

香箱, 円錐滑車, 輪列, 冠型脱進機付

ムーブメント.

ムーブメントは2代目ジャン・ルソー

(Jean II Rousseau, 1606～1684年) の作.

ジュネーブ, 1675～1680年頃製作.

金, 七宝 / 真鍮金メッキ, スチール.

ムーブメントに《Jean / Rousseau》銘入り.



Inv. S-263 (パテック フィリップ・ミュージアム、ジュネーブ)

徳に導かれる良き王子

バシース型時計.

金地七宝細密画.

初代ピエール・ユオー

(Pierre I Huaud, 1612～1680年)

の作と見られる.

香箱, 円錐滑車, 輪列, 冠型脱進機付

ムーブメントは2代目ジャン・ルソー

(Jean II Rousseau, 1606～1684年) の作.

ジュネーブ, 1665～1670年頃製作.

金, 七宝 / 真鍮金メッキ, スチール.

ムーブメントに《Jean / Rousseau》銘入り.



Inv. S-942 (パテック フィリップ・ミュージアム、ジュネーブ)

《月齢表示時計》

大型バシース型時計.

- 時報 (鐘による)
- 目覚し
- 曜日とその錬金術記号
- 日付
- ムーンフェイズ
- 月齢

香箱, 円錐滑車, 輪列, 冠型脱進機付ムーブメント.
歯付香箱, 輪列, ハンマー付時報用ムーブメント.
歯付香箱, 輪列, ダブルハンマー付目覚し用ムーブメント.
カレンダー・月齢用ムーブメントは地板と文字盤下の
プレートに挟まれている.

ムーブメントは2代目ジャン・ルソー
(Jean II Rousseau, 1606~1684年) の作.
ジュネーブ, 1660年頃製作.
金, 七宝 / 真鍮金メッキ, スチール.
ムーブメントに《Jean Rousseau A Geneve》銘入り.



Inv. S-406 (パテック フィリップ・ミュージアム、ジュネーブ)

花と葉飾り

バシース型時計. 時報付 (鐘による).
香箱, 円錐滑車, 輪列, 冠型脱進機付ムーブメント.
歯付香箱, 輪列, ハンマー付時報用ムーブメント.
ムーブメントは2代目ジャン・ルソー
(Jean II Rousseau, 1606~1684年) の作.
ジュネーブ, 1660年頃製作.
金, 七宝 / 真鍮金メッキ, スチール.
ムーブメントに《Jean Rousseau》銘入り.





PATEK PHILIPPE
MUSEUM

《報道資料》 ページ 7

Inv. S-177 (パテック フィリップ・ミュージアム、ジュネーブ)

十字架

十字架時計. 時報付 (鐘による).
香箱, 円錐滑車, 輪列, 冠型脱進機付ムーブメント.
ムーブメントは2代目ジャン・ルソー
(Jean II Rousseau, 1606~1684年) の作.
ジュネーブ, 1630~1640年頃製作.
銀, 真鍮金メッキ, 水晶 / 真鍮金メッキ, スチール.
ムーブメントに《Jean / Rousseau》銘入り.

